



令和7年度 桐生市立梅田南小学校 学校経営グランドデザイン

学校教育目標

＜根拠となる法令等＞
・第4期群馬県教育振興基本計画
・第2期群馬県教育大綱
・群馬県教員育成指標
・令和7年度学校教育の指針
・第3期桐生市教育大綱
・令和7年度桐生市教育行政方針

【基本目標】

豊かな情操と自ら学ぶ意欲をもち、心身ともに健康で社会の変化に主体的に対応できる子どもを育てる

【具体目標】

○なかよく思いやりのある子 **（やさしく）** ○すすんで学び高め合う子 **（かしこく）** ○明るくたくましい子 **（たくましく）**

児童・職員・保護者・地域

みんなの笑顔がいっぱい梅南小！

【目指す児童像】

- 自分も相手も大切にする子
- 学びを楽しむ子
- 健康や安全に気を付け生活し、自らの課題に挑戦する子

【目指す学校像】

- 安全、安心な学校
- 学ぶ楽しさを実感できる学校
- 家庭・地域に信頼される学校

【目指す教職員像】

- 児童から信頼される教職員
- 自分から動く力「エージェンシー」を発揮する教職員
- 同僚、保護者、地域を大切にする教職員

学校経営方針

◎ 努力点

やさしく

【豊かな心を育む教育の推進】

- ◎自己肯定感・自己有用感を味わえる学級経営・委員会活動・縦割り活動・地域体験学習の推進
- ◎目指す児童の姿を明確にした、「梅田で生きる 梅田を生きる」学習の充実
- 相手を思いやった言葉遣いの指導
- 児童主体の「いじめ防止活動」の充実と、いじめ、不登校の予防（相談、生活アンケートの実施、温かい言葉かけ）
- 特別な配慮が必要な児童への理解と手立ての工夫

かしこく

【確かな学力の確実な定着】

- ◎めあてと振り返りを大切にした授業
- ◎自己決定、学び合い、伝え合いの場面での支援の充実
- 定期的に「授業力アップ目標」を掲げ、互いに学び合い授業力を向上
- 「ステップアップタイム」の確実な実施と、職員同士で内容を共有
- 学習の定着を図るための家庭学習の手立ての工夫
- キャリア教育の視点からのカリキュラムマネジメント

たくましく

【体力向上・健康安全教育の充実】

- ◎安全対策、危機管理対策、感染症対策の徹底と継続
- ◎危機を予測・回避する能力と、危機に対応する行動力を育む安全教育の推進
- ◎体育の授業、朝運動、休み時間の外遊びを通して運動量を確保
- 早寝・早起き・朝ごはん・歯磨きの推進、食育に関する指導の充実
- 食物アレルギーへの対応、研修

児童に寄り添う指導体制

- 全職員で情報を共有し、相談し合い、共通理解を図り、同一歩調で児童の成長を促す指導を行う。

働きやすい職場づくり組織運営の整備

- ◎報告・連絡・相談が気兼ねなく行える風通しのよい学校（だれも完璧ではない、困っていることを困っていると言える学校）をつくる。
- ◎同僚の意見や考えを尊重し、互いのエージェンシーを生かし合えるようにする。
- ◎低・中・高学年ブロック、分掌の主任・副主任等、同僚と連携し、教え合い、助け合っていく。
- ◎PDCAサイクルに基づいた業務改善を推進する。行事終了後に振り返りをし、次に生かす。

教職員の資質・能力の向上

- ◎メンター研修を活用し、教職員同士お互いに高め合っていく。
- ◎日頃から職員室内等において、教職員同士で気軽に教え合い、学び合っていく。
- ◎教職員同士、授業を見合うことを心がけ、授業力の向上を目指すことで、児童の学力の定着を図る。

家庭や地域社会等との連携・協働

- 学校通信や学校評議員会等において、学校の教育目標や学校経営グランドデザインを公表するとともに、教育活動の様子を伝え、学校教育活動への理解と協力を得るなどして、家庭や地域と連携しながら地域とともにある学校づくりを推進する。

（児童） 学校生活の基本となる指導

「やるべきことを 自分から」
「あいさつ」「ふわふわ言葉」「準備・片付け」

（教職員） 職場のキーワード

うめなん小のために
「自分で考え 自分で動く 先生エージェンシーを発揮！」

【児童への願い】

- 地域の「豊かな自然」「優れた文化」「人」から学んでほしい。
- 仲間を認め合い、助け合い、高め合ってほしい。
- 自分で考え、自分から動く力「エージェンシー」を発揮してほしい。

学校評価
（児童・保護者・教職員）

学校関係者評価
（学校評議員）